

御中

紙フォルダーのご案内

企業や団体様のSDGs活動に、
プラスチックを使わない
「紙製クリアファイル」をご提案。
採用活動や企業ブランディングの
ツールとしてご活用下さい。

A4サイズ 500部 75,000円(税別)～
※デザイン料 片面 15,000円～



Remar Pro.

株式会社リマープロ TEL : 098-943-8271 all@remar.co.jp

今の世の中の動き・環境問題

- ▶ 「脱プラスチック」「脱プラ」という言葉は誰しも耳にしたことがあるかもしれませんが、最近では「SDGs」という言葉もよく聞きます
- ▶ SDGs（エスディー・ジーズ）とは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称で、2015年9月の国連サミットで採択され、活発化した人間活動により、経済・社会の基盤である地球の持続可能性が危ぶまれていることに端を発します
- ▶ SDGsは国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた目標で、17の大きな目標と、それらを達成するための具体的な169のターゲットで構成されています

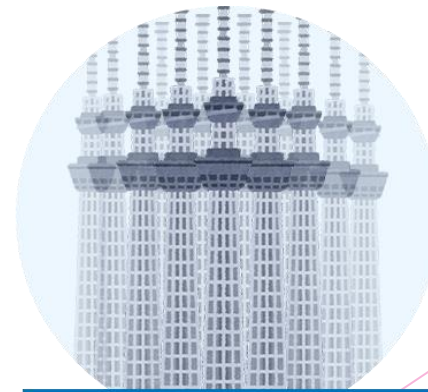
環境への負荷 の数値

- ▶ 目標の1つに「14. 海の豊かさを守ろう」があります
- ▶ この中にはプラスチック環境問題、これは自然分解されないプラスチックが環境に負荷を与え、生態系に様々な悪影響を及ぼすというものです
- ▶ 2015年の調査の段階で、すでに**世界中の海には1億5,000万トンものプラスチックごみが存在**しており、さらに少なくとも**年間800万トンが新たに流出**していると推定されています
- ▶ **800万トンという数字はなんと東京スカイツリー222基分に相当し、それだけの量のプラスチックごみが、毎年世界の海を汚染し続けているのです**



プラスチックごみ

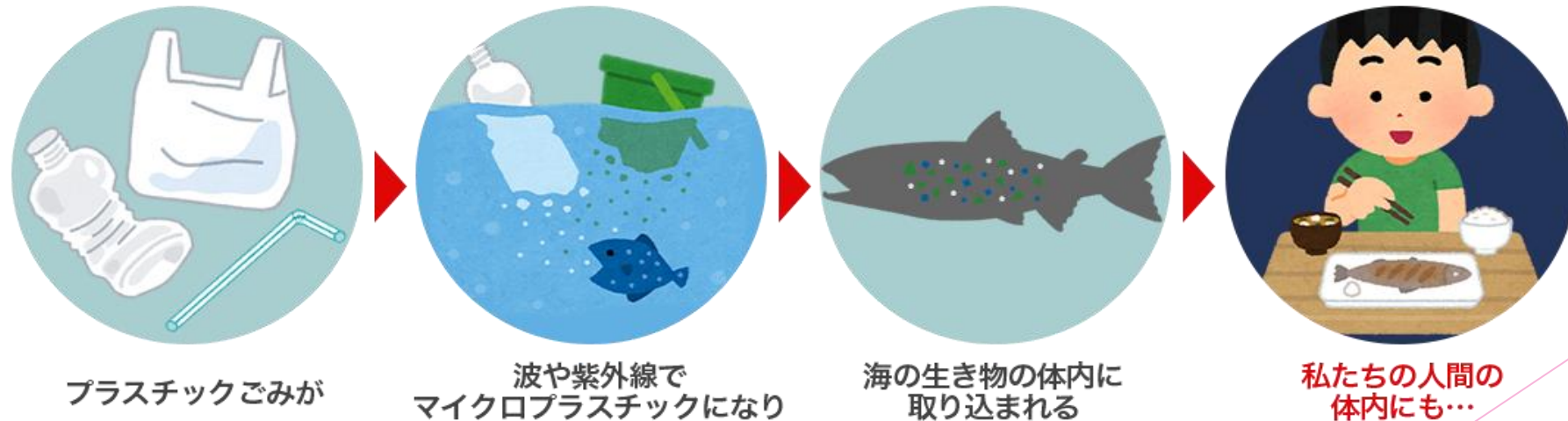
800万トン/年



東京スカイツリー

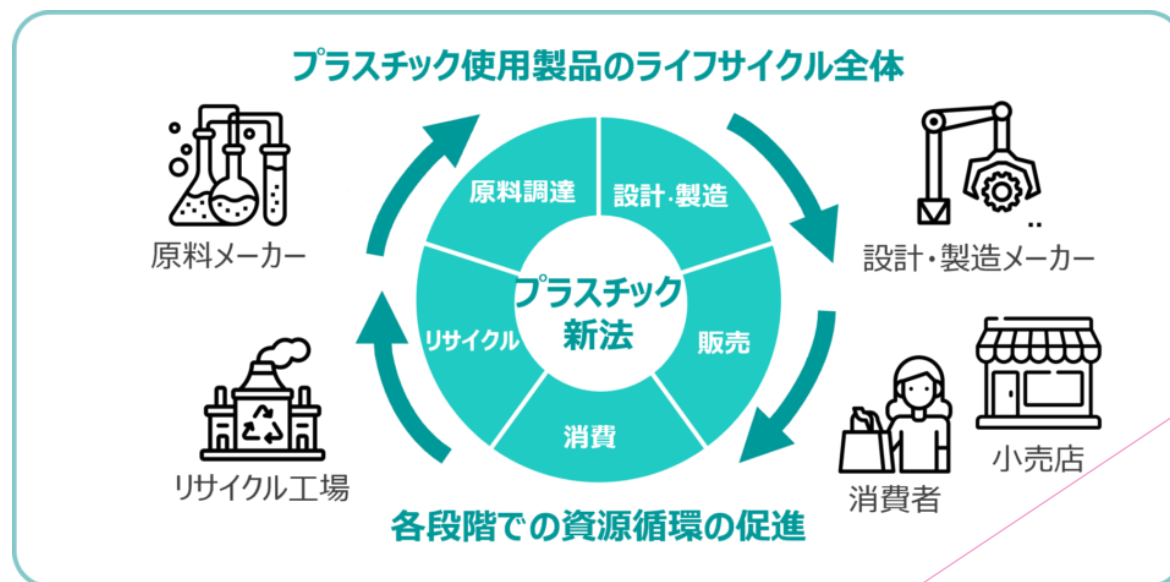
222基

- ▶ プラスチックごみが海に流出することは、たんに海が汚くなるという問題だけにとどまりません
海に流れたプラスチックは波の力や紫外線などの影響で5mm以下の「**マイクロプラスチック**」となり、海の生き物たちの体内に取り込まれます。そしてマイクロプラスチックに汚染された魚を食べることで、私たち人間の身体にも悪影響が及ぶ恐れがあることが言及されています。
また最近の研究では実際に**人間の血液中からマイクロプラスチックが発見された**という報告もあり、その深刻さはすでに他人事ではなくなってきています。



- ▶ 日本においてはプラスチック新法（プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律）が2021年6月11日交付、2022年4月1日施行されました。
- ▶ 製品の減量化や包装の簡略化で、使用するプラスチックを少なくする
- ▶ 製品の耐久性を高め、長期間使えるようにする
- ▶ 簡単に再使用できる部品の導入や単一素材化、分解や分別の容易化でリサイクルを推進する
- ▶ 材料の転換

※ 使用する原料が少なくなれば、ごみとなるプラスチックも削減される。一つの製品を長期利用できれば、それもまたプラスチックごみ削減につながる。ごみとして処分される製品についても、部品交換や分別、再加工が容易であれば、リサイクルしやすくなる



プラスチックをやめる・減らす

大手企業取り組み事例

すかいらーく：各種プラスチック製品の廃止

- ▶ 2018年より石油由来のプラスチック製品の削減のため、以下のような対策を段階的に取り組んでいます。
- ▶ プラスチック製ストローの廃止（2018年8月より）
- ▶ ドリンクバーなどに常備されている石油由来の使い捨てプラスチック製ストローを順次廃止
- ▶ 竹割り箸の個包装をプラスチックから紙に（2020年8月より）
- ▶ すかいらーくレストラン全店で、竹割り箸の包装をプラスチックから環境に優しい紙に順次変更
- ▶ レジ袋・カトラリーをバイオマスプラスチックや木製に変更
- ▶ テイクアウト用のレジ袋（2019年12月より）
- ▶ テイクアウト・宅配用のカトラリーを木製に（2022年1月より）

スターバックス：プラスチックストロー使用禁止

- ▶ 世界中の約28,000店舗でプラスチックストローの使用を廃止すると発表
- ▶ 日本国内で展開するスターバックスについては、2020年1月より段階的にプラスチックストローから「FSC® 認証紙ストロー」での提供、同年3月に全店約1500店舗に導入
- ▶ この取り組みでは、日本国内だけで年間約2億本のプラスチックストローの削減、全世界では年間約10億本のストロー廃棄削減を実現するとされています。

日本マクドナルド：脱プラスチックの取組を全国に広げる（2022年10月より）

- ▶ 全国約2900店舗で紙製のストローや木製のスプーン、フォークを導入し、プラスチック製から順次切り替えていく
- ▶ 年間およそ900トンのプラスチック削減が可能

日本生命様取り組み事例



- ▶ クリアファイル600万枚を、3年後（2024年まで）に全て紙製に
 （紙之新聞 2022年7月8日付）
- ▶ プラスチックから紙製に切り替えることで、製造工程や破棄時の二酸化炭素（CO2）排出量低減が見込める

対応策（環境負荷を減らす為に私たちに今、出来ることは？）

- ▶ 「脱プラ・SDGsに取り組む！」といっても一般的な企業は何をすれば良いのでしょうか？
- ▶ このような場合、「脱プラ」「SDGs」の対策として、今、私たちの身近で且つすぐに出来ることの1つとしてクリアファイルの使用を減らすことはいかがでしょうか
- ▶ 何かと重宝される「クリアファイル」、重要書類を他のものと一緒にしないよう仕分ける際に活用したり、書類を外に持ち出す際、濡らさない・汚さないために活用している方も多いはず。使い勝手が良く、安価に仕入れられるため、どんな企業・事業所にも「クリアファイル」は存在していることでしょう

紙フォルダーを製品として使用した場合のメリット

- ▶ 脱プラスチックに取り込むことで海洋プラスチック問題の解決に貢献
- ▶ 紙フォルダーを使うことで「環境に配慮した企業」ということが一目で伝わります。
- ▶ 紙100%で出来ているため、紙資源としてリサイクルができます
- ▶ 紙素材なので、ファイルに直接書き込み・押印などができます
- ▶ 両面に印刷出来るので、オリジナルのデザインが可能、会社説明会や営業資料など様々な場面においてブランディング効果の向上が期待できます

紙フォルダーを製品として使用した場合のデメリット

- ▶ 簡単には折れ曲がらない丈夫なプラスチック製のクリアファイルに比べると紙ゆえにやはり耐久性では劣ってしまいますが、一時的な収納物として使えば紙製でも十分対応できます
- ▶ 紙製ですので水や汚れが付いてしまった場合、プラスチック製のような防水効果はなく、濡れた部分はよれたりしてしまう可能性があります

紙フォルダーの利用により、SDGsの17の目標のうち5つの目標達成に大きく貢献します

▶ 目標9「産業と技術革新の基盤をつくろう」への貢献

- ・紙製への転換により、プラスチックに代わる素材の開発および利用を促します

▶ 目標12「つくる責任 つかう責任」への貢献

- ・プラスチックの原材料である石油の使用を減らすことで、有限な資源の保全につながります

▶ 目標13「気候変動に具体的な対策を」への貢献

- ・プラスチックの使用を減らすことで、燃やした際に発生する温室効果ガスの削減につながります

▶ 目標14「海の豊かさを守ろう」への貢献

- ・海に流れ込むプラスチックゴミ削減により、海洋生物の保護につながります

▶ 目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」への貢献

- ・環境に配慮した製品の使用を通して、皆様とのパートナーシップ構築に寄与しています